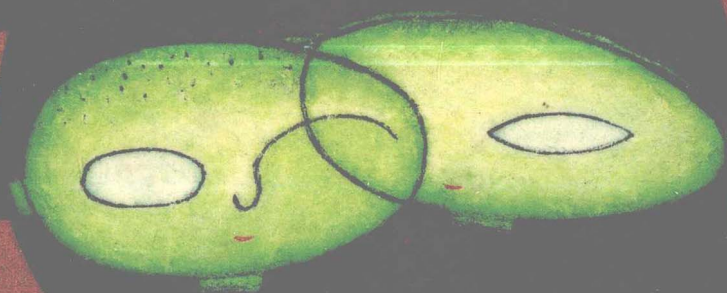


時間割に

ない時間



木村信子詩集

NDC 911

時間割にない時間(木村信子詩集)

木村信子

かど創房 1983

102P 23cm (創作文学シリーズ詩歌)

木村信子詩集

時間割にない時間 ©1983

昭和58年7月 初版発行

著者 木村信子

編集協力 まど・みちお

発行者 門馬正毅

発行所 かど創房 1133

越谷市大成町8丁目2520-44 ☎343

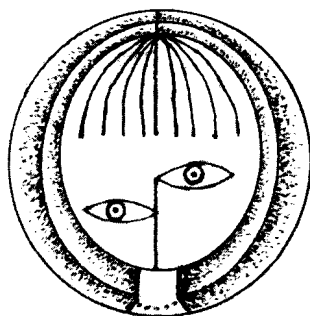
☎0489(86)8800 振替東京6-32461

印刷・株式会社方英社／製本・カノマタ製本

＜検印省略＞乱丁・落丁本はおとりかえします。
定価はカバーまたはオビに表示してあります。

ISBN4-87598-017-5 C8092

時間割に ない時間



木村信子詩集

も
く
じ

時間割にない時間

I

わたしがいる……………	10
雲が通る……………	12
真昼……………	14
ころのたまをころがして……………	16
いまは春です……………	18
春がなわとびしています……………	20
ゆびわ……………	22
だれかさん……………	24
かたかたさん……………	26
おばあさんが帰ってきたときに……………	28
未知へ……………	30

II

ぼくんち……………	34
-----------	----

こないない天気なのに……………36

すすきの原で……………38

えんぴつ……………40

罨……………41

北風の中……………42

まほうつかい……………44

踏む……………46

春一番……………48

手長……………50

だぶだぶおばさん……………52

III

熱坊主……………56

ねむれない夜……………58

雨降り……………59

耳鳴り……………60

手紙……………62

森の中の道……………64

ほおずき……………66

つくし……………68

天気雨……………69

IV

たつのおとしご……………72

かかし……………74

あずき……………75

ばった……………76

薬指……………77

こんぺいとう……………78

なみだ……………79

やどかり……………80

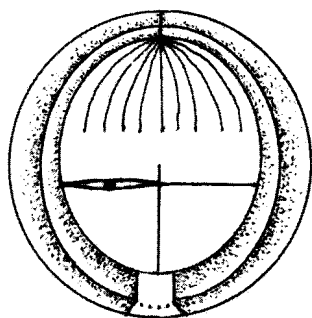
となりの客はよく柿食う客だ……………81

おまえのまえがみさげまいがみ……………82

山賊と海賊……………84

V

塩 鮭……………	88
なっとう……………	89
ひろっぱ……………	90
兵たいさん……………	91
蟻……………	92
事 件……………	94
ものぐさこじき……………	95
三人の男……………	96
旅芸人……………	97
お寺の桜が満開だ……………	100
お寺の和尚さん……………	101



わたしがいる——（飯田木実へ）——

泣^ないているわたしがいる

わたしがいる

泣^{なき}声^{こえ}のまん中^{なか}に泣^ないているわたしがいる

泣^ないているわたしがいる

わたしがいる

泣^{なき}声^{こえ}の奥^{おく}をのぞいているわたしがいる

泣^ないているわたしがいる

わたしがいる

泣^{なきごえ}声の沖^{おき}へ泳^{およ}いでいくわたしがいる

泣^ないているわたしがいる

わたしがいる

泣^{なきごえ}声のま^{なか}ん中に泣^ないているわたしがいる

雲くもが通とおる

雲くもが通とおる

いいお天てん氣きですねといとつて通とおる

友とも達だちみみたいな顔かおして通とおる

雲くもが通とおる

わたしわたしみたいかたちにまるまるっここい形かたちして

ふわふわしあとわせとそうとに通とおる

雲くもが通とおる

遠とおくへ旅たびに行いくらしいのに

散歩さんぽみたい
に気軽きがるに通とおる

真昼^{まひる}

真昼^{まひる}はまるい宝石^{ほうせき}です

なかで

かあさんが働^{はたら}いています

あかんぼうがねむっています

少女^{しょうじょ}がうたっています

真昼^{まひる}はまるい宝石^{ほうせき}です

神^{かみ}さまが

胸^{むね}にかざると春^{はる}です

頭^{あたま}にかざると夏^{なつ}です

耳^{みみ}にかざると秋^{あき}です

真昼^{まひる}はとても大きな宝石^{ほうせき}です